

## 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016 優勝報告

近藤 (3年)、河本(3年)



2016年8月22日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2016に参加し、学生の部で優勝、総合でも2位準優勝の成績を上げましたので報告します。

参加メンバーは有川(4年生)、近藤・河本・金粕(3年生)、丹羽・重富・橋本・今澤(1年生)の8名です。

ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの全3ラウンドをそれぞれ最新のエコカーで走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競います。

本レースは、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として、燃費が良く、CO<sub>2</sub> および交通事故削減に寄与する「エコドライブ」の全国的なムーブメントをつくることを目的としています。自動車関連団体と連携し、自動車レースの聖地である鈴鹿サーキット国際レー

シングコースで、学生および全国のエコドライブトップランナー企業・自治体が、普段のエコドライブの技術や成果を競い合います。

競技内容としては、鈴鹿サーキット外周路等を用いて、主催者にて準備した車両(3車種)で、車種毎に異なったコースをそれぞれ走行。燃費(消費燃料や電費等)やタイムの3ラウンド合計のポイントによって、順位を競います。

### 第1ラウンド:サーキットラウンド

車両:ホンダ フィット

ドライバー:近藤/ナビゲータ:重富

第1ラウンドなのでメインストレート上でル・マン式スタートにてスタートし、本コースを6周。フィットは燃費とタイムそれぞれ150ポイントで争われるため、燃費を狙いつつタイムを落とさない走りを目標としました。

結果は60チーム中41位でした。

## 第2ラウンド:チャレンジラウンド

車両:トヨタ プリウス

ドライバー:金粕/ナビゲータ:丹羽  
ピットガレージよりスタートし本コースを6周し、6周の間に2回のピットスルーが義務付けられていました。

プリウスは燃費 200 ポイント、タイム 100 ポイントで争われるため、燃費だけに的を絞った走りを目指しました。

結果は 60 チーム中 5 位でした。

## 第3ラウンド:テクニカルラウンド

車両:日産 リーフ

ドライバー:河本/ナビゲータ:橋本  
本コースを2周走った後、ピットレーンからパドックに移動し5つのチェックポイントにて課題をクリアします。

チェックポイントでは、1.空気圧チェック 2.記念撮影 3.車庫入れ 4.ボックス 5.幅寄せ の5つの課題が課せられました。

リーフは電費 100 ポイント、タイム 200 ポイントで争われるため、電費を犠牲にしてもタイムを狙う走りを目指しました。

結果は 59 チーム中 4 位でした。

以上3ラウンドの合計ポイントにより、学生クラス順位は37チーム中1位(優勝)でしたが、総合順位では元F1ドライバーである片山右京氏がドライバーを務め圧倒的な成績を残したチーム YOKOHAMA に差を付けられ2位(準優勝)となりました。

また競技終了後には片山右京氏らのトークショーや参加者同士の意見交換会が行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。さらに今年度からはトヨタ・日産・ホンダ・モビリティランド・NOK の各社の人事関係者も参加しており、各企業と学生との交流の場としての印象を強く受けました。

今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、OB 会よりいただいた援助金を大切に使用させていただきました。ありがとうございました。

OB の方々をはじめとする自動車部の皆様のご支援により参加することのできた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めてゆきたいと思います。そして来年は前回優勝校として、またそれ以降も総合優勝を目指して継続して参加できればと思っています。

最後になりますが、現地まで応援に駆けつけて下さった河野さん、孝橋さんをはじめとするOB の皆様、実車試乗や運転指導をして頂いたトヨタ・日産の各ディーラー様、その他各方面の皆様のご協力、ご支援、ご声援のお陰でこの度学生の部 優勝/総合準優勝 という素晴らしい結果を残すことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

以上



河野氏撮影 会場とサーキット

## - 参加者感想 -

### 1. 近藤(主将:3年生)

九州工業大学自動車部としてはエコドライブチャンピオンシップに2014年度大会から参加を始め、今年で参加3年目となります。私も2014年度大会から参加させて頂いており、今年ドライバーとして参加しました。

F1等の大規模なレースも行われ、「モータースポーツの聖地」である鈴鹿サーキットで開催された本大会に参加し、鈴鹿サーキットを走行出来た事、また学生優勝・総合準優勝という輝かしい成績を残せた事は自分の中で非常に有意義な経験であり一生の思い出になりました。

### 2. 金粕(主務:3年生)

僕は今大会が初めての参加でしたので、鈴鹿サーキットの国際レーシングコースを走れることが純粋にうれしく、正直勝つことに対する意識はあまり高くなかったのですが、大会に出場する以上勝りたいという意識はやはりあったので、大会前にプリウスの試乗をさせにもらいに行ったり、シミュレーションゲームで何度も鈴鹿を走ったり、如何に燃費を向上させるか調べたり仲間と話したりと、対策は色々していました。また本番中は何度も楽しくなり、ついアクセルを踏み込みたくなりましたが燃費を向上させるために我慢することも大変でした。結果として良い成績を収めることが出来たので非常に嬉しいです。

### 3. 河本(ラリー委員長:3年生)

今回、自分はエコドライブチャンピオンシップ3度目の参加でありリーフのドライバーを担当しました。リーフのドライバーを務めるにあたり、日産ディーラーさんを伺いリーフの試乗をさせて頂きました。またこれまでの参加の経験を活かしリーフはタイムでの順位1位を目標とし、これを達成できたことが勝因だと思います。学生の部優勝のプライドを持ち、後輩たちへ運転技術を伝えていくとともに、さらなる向上に努めてまいります。

### 4. 重富(1年生)

今回、私は初めてエコドライブチャンピオンシップに参加しました。自分はナビとしての参加でしたが、鈴鹿サーキットを走ることができたのでそれだけでもとても楽しかったです。また、それだけでなく先輩方の記録が良く、学生の部で優勝することができ、とても良かったです。

私はまだ免許を持っていませんが運転をするようになった時は環境や燃費に気をつけて走ることができるようになりたいとも思いました。

### 5. 丹羽(1年生)

今回の大会は、初めて自分自身が同乗として参加するものとなり、普段の活動とは異なった新鮮なものでした。全国規模の大会であるため多くの大学やチームが参加しており、その中で自分達の部がこのような結果を残せたことは本当に嬉しく、自分にとっても素晴らしい思い出となりました。今後もさらに部の活動に参加し、努力していきたいと思えます！

### 6. 橋本(1年生)

今回、全国規模の大会にナビとして出させて頂きました。初めてだったので分からないことだらけでしたが、無事走りきることが出来ました。学生の部で優勝したチームの一員になれてとても嬉しいです。

### 7. 有川(4年生)

結果発表で九州工業大学自動車部が呼ばれた時、とても驚きました。

今回の成績は日頃の部活動での活動の成果だと思います。

これからも自動車部で運転技術を磨いていきたいと思えます。

### 8. 今澤(1年生)

エコドラを通して鈴鹿サーキットという有名なサーキットを肌で感じる事ができ、またエコドライブに関する知識もついていい経験となりました。